

MEGA600 MEGA1200

水素&酸素吸入器

H²メディカルパワー[®]

取扱説明書



もくじ

ページ

安全上の注意事項	2
同梱品名称	4
各種名称	5
設置方法	6
カニューラの使用方法	8
使用方法	11
メンテナンス	12
故障かなと思ったら	13
仕様	14
製品保証書	15

1年保証書付き

設置方法動画

取扱説明書PDF



この度は、「H²メディカルパワー[®]」をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

この説明書(保証書付き)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

この取扱説明書(保証書付き)は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

安全上の注意事項 必ずお守りください

水素ガスは、取り扱いを誤ると爆発する可能性があり、とても危険です。
必ず、注意事項を守ってご利用ください。

1. 使用前の注意

- **取扱説明書を必ずお読みください。**
誤った使用は重大な事故につながる可能性があります。
- **指定の高純度精製水を使用してください。**
浄水器の水、水道水、ミネラルウォーター等は使用厳禁です。
故障の原因となり、保証対象外となります。
指定精製水会社名: サンエイ化学株式会社 TEL: 0120-724-729
公式サイト: <https://www.seiseisui.com/c/0000000130/0000000138>
高純度精製水(コックなしをお選びください。)精製水は、開封後、空気を抜いて密閉し、直射日光を避けて保管してください。

2. 使用時の注意

- 火気厳禁!ライター、ストーブ、コンロ等の**火気の近くで使用しないでください。**
- **静電気対策**
静電気の発生を防ぐため、以下の対策をしてください。
乾燥した環境での使用は避けてください。
静電気が発生しやすい衣類(ウール、化学繊維など)を避けてください。
静電気除去ブレスレットの着用を推奨します。
使用するベッドや設備も静電気対策を施してください。
特に静電気体質の方や体調がすぐれない方は、静電気の影響を受けやすい場合があります。
- **接地接続**
万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧(雷など)がかかったとき本機を守るためアース線を接地してください。
接地接続は、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外すときは、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いた後でアース線を外してください。
接地するところ(例)
電源コンセントのアース端子、銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの、設置工事(第3種)が行われている設置端子。**絶対に接地してはいけないところ: 電話専用アース線、避雷針**
- **接続管の安全確保**
カニューラや接続管が折れたり、つぶれたりしないようにしてください。
ガスが管内に滞留すると危険です。
機器から発生する水素・酸素ガスが常に排出される状態を保ってください。
- **マスクをしながら吸入しないでください。**
二酸化炭素の排出が妨げられ、呼吸に影響を与える可能性があります。

- **風通しの良い場所で使用してください。**
密閉空間では使用しないでください。
換気の良い場所でのみ使用してください。
- **ペットボトル等に水素ガスを充填しないでください。**
爆発の危険があります。
- **通気スペースを確保してください。**
壁から10cm以上離して設置しないと、機器が過熱し故障の原因となります。
- **設置場所の気温は 30℃以下 にしてください。**
- **使用後は水素が高温になっています。**やけどに注意してください。
- **酸欠にご注意ください。**
本機は水素発生量が多いため、水素のみの吸入は酸欠の恐れがあります。
水素と酸素の同時吸入を推奨します。(ご自身の判断でご使用ください。)
吸入中に体調不良を感じた場合は、ただちに使用を中止し、医師に相談してください。

3.使用後・保管時の注意

- **使用後はコンセントを抜いてください。**
- **10日間以上使用しない場合は、精製水を交換してください。**
長期間交換しない場合、長時間使用しない場合は、タンク内にカビ等が発生し、故障やガスへの悪影響を及ぼします。
タンク内の清掃は、ダストが発生しないきれいなウエス等を使用し、タンク内にゴミ、ダストが残らないように拭き取ってください。アルコール、洗剤は、使用禁止です。
カビ、雑菌等の殺菌には、紫外線殺菌ランプ等を使用して、殺菌、消毒をしてください。
- **長期間使用しない時は、内部の精製水を排水して保管してください。**
- **機器を分解しないでください。**分解すると保証対象外となります。
- **精製水が入ったまま運搬しないでください。**
水漏れや故障の原因となります。
運搬時は必ず排水し、底面を持って持ち上げてください。
- **移動・運搬時は衝撃を与えないでください。**
精密機器のため、衝撃で故障する可能性があります。
- **火災報知器の誤作動に注意してください。**
使用時に火災報知器が作動する場合は、スイッチをOFFにするか、離れた換気の良い場所で使用してください。
- **交換・返送時の注意**
弊社では訪問・代行による交換や返送対応を行っておりません。あらかじめご了承ください。
本機の使用に関する損害について、機器の使用に起因するその他の損害については、一切の責任を負わないものとします。
お客様ご自身で十分ご注意の上、ご使用ください。

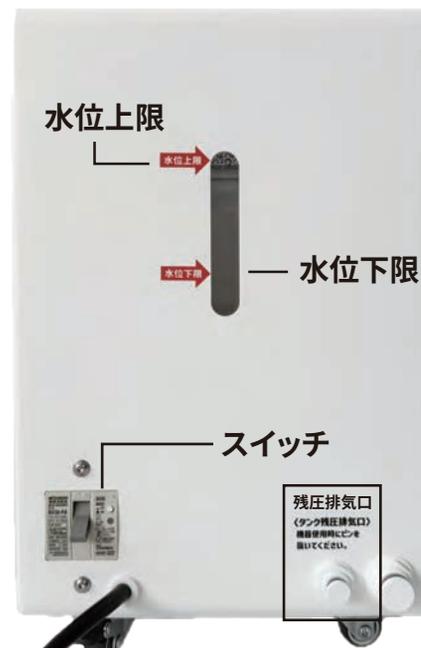
同梱品名称

機器本体MEGA600・MEAGA1200

前面



背面



※ご購入のお客様:保護膜はお好みで、剥がしてご利用下さい。
レンタルのお客様:保護膜は剥がさないでご利用ください。

同梱内容

(2025年02月現在)

水素酸素吸入器(本体)

水止め付カニューラ(4個)

※レンタルの場合は1個です。

ストラップボトル(1個)

ストラップホルダー(1個)

分岐管セット(1個)

手動ポンプ(1個)

(保証対象外 サービス品)

取扱説明書(1部)

指定精製水 (10L 1箱)

レンタルの場合

サービス品以外は返却対象です。

右のQRコードから詳しい機器返送方法をご確認ください。

傷、損傷があった場合、お預り金より相殺させていただく場合があります。

ご了承のほどお願いいたします。



機器返送方法

各種名称

操作部/表示部

WATER
CHECK

水質アラーム

使用時間のところに、交互に2桁で表示されます。TDS値5以上で**WATER CHECK** が点灯アラームが鳴り、自動停止します。新しい指定精製水に交換してください。稼働停止後、**WATER CHECK** が点灯することがあります。蓋を開けて、精製水を冷ましてください。放熱後、自動的に消灯します。

指定精製水が新しいのに点灯する場合は、**P** ボタンを5秒以上長押しして、循環ポンプを1分ほど稼働してください。再度、**P** ボタンをタッチで停止します。

WATER
LEVEL

水位アラーム

水位が上限を超えると**WATER LEVEL**が点灯して自動停止します。P13の要領にて排水してください。下限に達すると警告音となり1時間後に自動停止し、**WATER LEVEL**が点灯します。水を補充してください。

H₂発生量

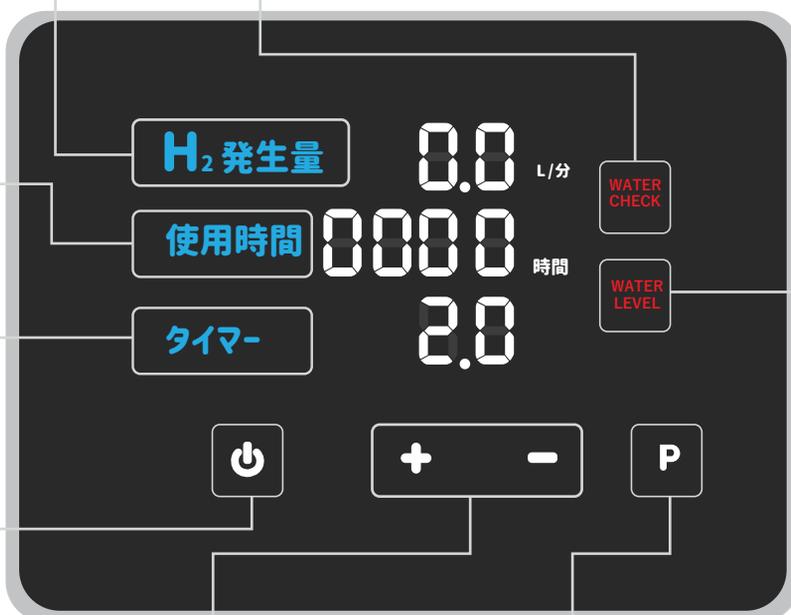
1分間の水素発生量をリットルで表示しています。

使用時間

使用累積時間です。1分毎累積しています。

タイマー

作動残り時間を表示しています。



⏻ スイッチ
ON/OFF

⊕ ⊖ タイマー時間の設定
1～5時間の間で設定できます。

P 循環ポンプ
タンク内に水がない状態で水を入れた時に、機器全体に水が循環するように、循環ポンプのみ稼働させます。5秒以上タッチすると稼働します。

圧力異常自動停止

稼働中に、圧力異常を検知すると、アラーム音が鳴り、**WATER LEVEL**と**WATER CHECK**が同時に点滅し、自動的に停止します。

機器背面の電源を切り、操作パネル消灯後、再度、電源を入れることでご利用可能になります。

安全にご利用いただくために管のつぶれや折れがないことを確認の上ご利用ください。

自動残圧排気機構

使用停止後、自動的にタンク内の圧力を解放するための排気口です。

機器ご利用の際、表示のある1箇所のみピンを取り外して使用してください。

設置方法



アースについては
こちらから

1



機器背面の電源コードの接地端子を接地し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

接地接続は、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外すときは、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いた後でアース線を外してください。

水素吸入器は、日本電気安全法で、アースの接続が定められています。一般的に、電化製品は、アースの接続をしなくても使用は出来ませんが、お客様の責任においてご判断ください。

※使用しないときは、電源をお切りください。

2

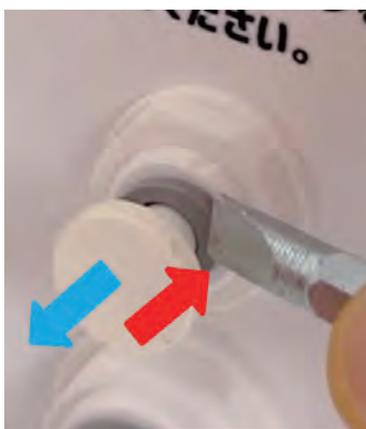


機器背面のブレーカースイッチのレバーを上に向けて電源を入れます。

ピッと音がし、正面の操作パネルが点灯します。

また、同時にアラームが鳴り、**WATER LEVEL**が点灯します。

3



機器背面の残圧排気用ピンを取り外してください。

1つだけ取り外します。

左図のように、灰色のリングをマイナスドライバー等で機器側に押しながらピンを引き抜いてください。

※灰色のリングを押したままの状態ピンを引き抜いてください

4



機器の上部のプレートを取り外し、蓋を取り外して

付属の手動ポンプで**指定精製水**を入れてください。

機器背面の水位下限以上まで入れてください。

操作パネルの**WATER LEVEL**ランプが消灯します。

※水位上限以上、水を入れると**WATER LEVEL**ランプ及び警告音がなります。また、水を入れ過ぎると、酸素排出口、機器背面の残圧排気口から水が出てきます。上限を超えて、警告音、警告ランプ(**WATER LEVEL**)が点灯した時、P9の作業にて排水をしてください。

※出荷前点検のため、タンク内に多少、水が残っております。ご了承下さい。

5



精製水を入れたら、蓋をしっかりと締めてください。
蓋が緩んでいると、酸素が酸素排出口から排出されません。

※タンク用安全弁

蓋の中央に安全弁があります。

接続された管が折れたり、つぶれたりした場合に機器から水素ガス、酸素ガスが排出されない場合、弁が外れて、タンク内の圧力を解放する安全弁です。

外れた場合、直ちに使用を停止して、管のつぶれや折れがないことを確認の上、安全弁を元に戻して、ご利用ください。

6



ストラップボトル、吸入管を接続します。

左図を参考に設置してください。

透明接続管を固定するようにストラップボトルの外周についているバンドの下に通してください。

ストラップボトルA部を機器側

ストラップボトルB部にカニューラ側を接続します。

ストラップボトルホルダーを取手にセットします。

ストラップボトルをストラップボトルホルダーに置いてください。

ストラップボトル内は、精製水を入れず、空の状態で使用します。ストラップボトル内に水が溜まったら、適宜、空にしてご利用ください。



水素と酸素の排出口のキャップは、必ず両方外して使用してください。

接続管、カニューラを接続します。

左図のように接続してください。

ストラップボトルはA部は機器側B部はカニューラに接続します。

接続を間違えるとカニューラから水が出てきます。

酸素だけの吸入は、出来ません。

酸素排出口に、排出抵抗圧力があると水素排出口から水が出てきます。

酸素排出口側に接続した管の折れ、潰れを確認してください。

※ストラップボトル安全弁

ボトル中央に安全弁があります。

接続された管が折れたりつぶれたりした場合機器から水素ガス、酸素ガスが排出されない場合ボトル内の圧力を解放する安全弁です。

安全弁より音がした場合、直ちに、使用を停止し管のつぶれや折れがないことを確認の上、ご利用ください。

水素吸入のみの場合



接続管、カニューラを接続します。左図のように接続してください。
ストラップボトルはA部は機器側H₂左側に接続します。
接続を間違えるとカニューラから水が出てきます。
酸素排出口には、何も接続しないでください。
酸素は、大気に放出された状態になります。

7



P ボタン長押し

操作パネルの右下の循環ポンプ **P** ボタンを5秒長押ししてください。循環ポンプが稼働します。内部の水を約3分ほど循環させます。もう一度、**P** ボタンにタッチすると停止します。精製水を交換した時、タンク内に精製水がなかった時は、その都度、**P** ボタンで精製水を循環させます。通常使用時は、**P** ボタンで循環の必要はありません。新しい指定精製水を入れても、水質アラームが点灯している場合は、同様に **P** ボタンで循環ポンプを稼働させてください。1分ほどで水質アラームが消灯します。

※循環ポンプ稼働後、1時間お待ちください。
(初回のみ、または、長期間、タンクに精製水がなかった場合)
電解ユニットに精製水を浸透させます。

カニューラのご利用方法

名称:COOLINGカニューラ

世界初^{※1}カニューラ自体に、ガスに含まれる水蒸気を液化するCOOLING機能を付加したカニューラです。(特許出願中)水素発生量が少ない機器では、鼻部に水滴が出ることはまれですが水素発生量が2000ml/分を越えると、鼻部に水滴が出てきます。ガスに含まれる水蒸気が鼻部に到達したときの温度変化で液化するためです。カニューラの管の途中に、カニューラの管と違う材質を使用することでガスを冷却し、その冷却パイプを通過する際に、水蒸気を液化して、鼻部に水滴が発生しないようにしています。

※1 弊社調査において

右図のように、吸入部を鼻にあてて、管を耳にかけてください。
ストラップ管に水が溜まったら、適宜取り除いてください。
クーラー管が、衣服や肌に触れると冷却効果が低減します。
ストラップ管が斜めや横になると鼻部に水滴が出る場合があります。



ご利用後

ストラップボトルB部より、カニューラを外してください。毛細管現象によりカニューラより水が出る場合があります。

ストラップ管の取り外し方



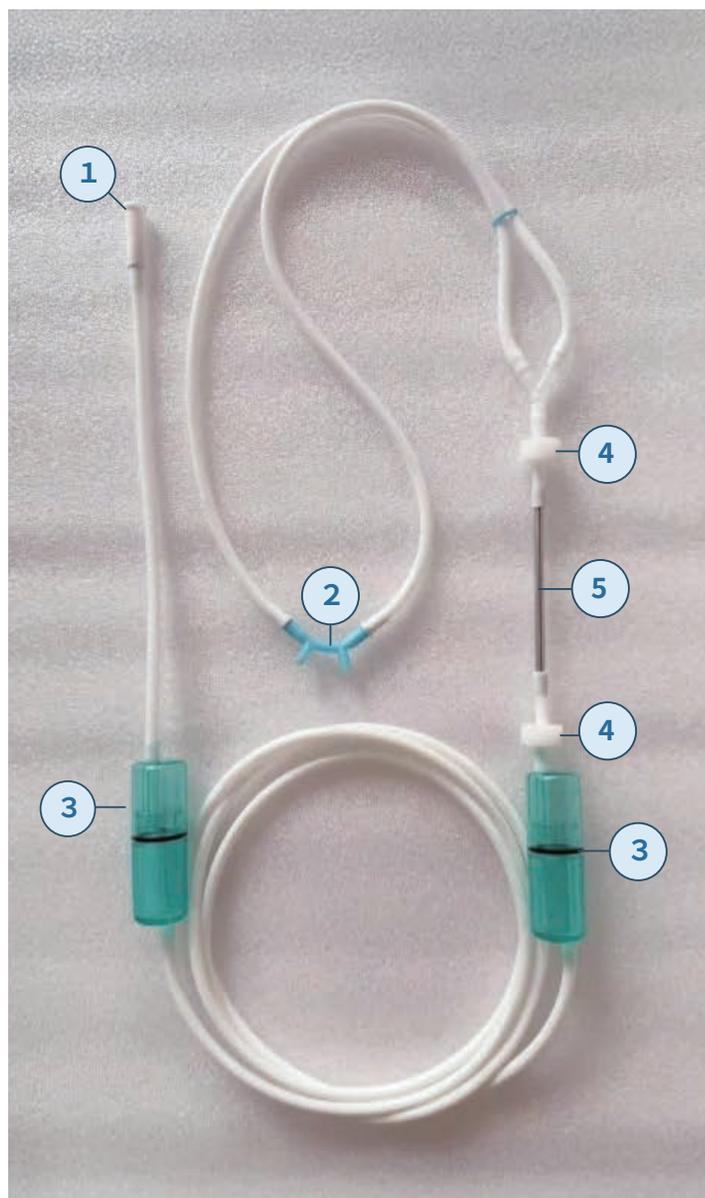
ストラップ管に水が溜まったら、水を取り除きます。プラスチック部分を半分づつ持って回すと外れます。水を抜き取って、また、もとに戻してご利用ください。

ストラップ管の使用方法



ストラップ管は、縦にしてご利用下さい。ストラップ間を横にするとストラップ管内の水が鼻部に出てきてしまいます。

各部名称



① ストラップボトルへ接続

② 吸入部 ③ ストラップ管

④ クッション

※クーラー管が衣服や肌に直接触れないようにクッションでガードします。

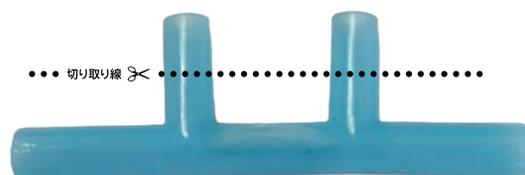
⑤ クーラー管

※クーラー管が衣服や肌に触れたり、手で持ったりすると冷却効果が低下します。

ビーズ管の調整

お好みで、ハサミでカットしてご利用ください。

※必ず、水素吸入器が稼働していない、水素吸入器と接続していない状態でカットして下さい。



ご利用後

ストラップボトルから、カニューラを外してください。
毛細管現象でカニューラより水が出る場合があります。

接続管について

※使用中、接続管にガス内の水蒸気が液化して水滴が
つきます。

※管内を清潔に保つように、適宜、乾燥させてください。
アルコール、食器用洗剤で洗浄できます。



使用方法

1



循環ポンプ稼働、1時間経過後

※吸入の前に注意事項は、お読みいただきましたでしょうか
静電気対策はお済でしょうか…

カニューラは装着しましたか

好みの時間に設定します。タイマー **+** **-** ボタンを押して好みの時間に合わせます。最大5時間設定できます。

操作パネル左下の **⏻** スイッチマークをタッチしてください。スイッチマークが点滅を始めます。

10秒間、循環ポンプが作動し、その後、水素発生が始まります。約30秒～1分で水素発生量が最大になります。

稼働中でも、**⏻** マークをタッチして、稼働停止、再稼働が出来ます。

※ご利用後、機器背面の電源スイッチをお切りください。

ご利用後、ご利用の前に

ストラップボトル内の水を適宜、取り出して、空にしてください。ストラップ管の中の水を適宜、取り出して空にして、ご利用ください。定期的に洗浄してご利用下さい。



メンテナンス

精製水の交換

精製水を付属の手動ポンプで交換してください。

精製水の交換時期

- ① 使用時間100時間を超えた場合
- ② 1か月に1回(使用時間100時間未満/月)
- ③ 10日間以上稼働しなかった場合

※精製水は、必ず、交換してください。細菌が繁殖し、健康を害する場合があります。

また、精製水を交換しても、累積使用時間はリセットされません

排水操作方法



上部のタンクの蓋をあけてください。
付属の手動ポンプで、タンク内の精製水を吸い上げて
タンク内を空にしてください。
タンク内に多少、精製水が残っていても問題ありません。
新しい精製水をタンクに入れてください。
蓋の裏のパッキンが溝に入っているのを確認して
蓋をしっかり締めてください。

※交換した精製水は、お洗濯やお掃除にご利用いただけます。

精製水交換後



操作パネルの右下の循環ポンプ **P** ボタンを5秒長押ししてください。
循環ポンプが稼働します。
内部の水を約3分ほど循環させます。
もう一度、**P** ボタンにタッチすると停止します。
精製水を交換した時は、その都度、**P** ボタンで内部の精製水を循環させます。
すぐに **⏻** ボタンをタッチしてご利用になれます。

故障かなと思ったら…

現象	故障原因	検査・対処方法
作動しない ランプが点灯しない	電源線未接続	電源線接続確認
流量モニター正常 水素がストラップ ボトルから出ていない	接続管からのガス漏れ	接続管から漏れがないか 確認してください。
 WATER LEVEL	水位上限オーバー 水位下限オーバー	排水、もしくは、 補充してください
 WATER CHECK	水質異常	指定高純度精製水に 交換してください
 WATER LEVEL  WATER CHECK 同時点灯	水素圧力異常	配管等の折れ、潰れが ないことを確認の上、 機器背面の電源を切り、 操作パネルが消灯後、 再度、電源を入れてください。
水素流量表示が 1.2Lを大きく 下回るようになった	電解ユニット稼働電源異常 電解ユニット異常	電解ユニット稼働電源、 もしくは、電解ユニットの 交換が必要です。 サービスセンターに ご連絡ください。
Er	温度異常	温度が下がるまで お待ちください。 繰り返し発生する場合は、 サービスセンターに ご連絡ください。

仕様

型番	MEGA600	MEGA1200
名称	高濃度水素&酸素吸入器 	
水素濃度	99.99%以上	
水素発生量	600ml/分 ±10%	1200ml/分 ±10%
酸素濃度	酸素排出口97~99%+水素 1~3%	
酸素発生量	300ml/分 ±10%	600ml/分 ±10%
使用水	弊社指定高純度精製水	
定格電圧・周波数	100V 50/60Hz	
定格電流	4A	5A
外観寸法	22cm×32cm×H34cm	
重量	9Kg	10Kg
保証期間	1年	
延長保証費用/年	3万円	5万円

※延長保証

お届けより1か月以内にお申し込みいただけます。最大2年まで。

長期消耗品の電解ユニットは含まれません。お申し込みの際は、弊社までご連絡をお願いいたします。

製品保証書 (ご購入後有効)

この製品保証書は、MAKE MEDICAL株式会社(以下当社と略す)が以下に定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理を行うことをお約束するものです。

製品名 水素&酸素吸入器 **H²メディカル**

保証期間 お届け日 年 月 日から1年間

<製品保証規定>

- 1 当製品の保証は、製品保証書の保証期間に「お取扱注意」等にしながら、正常な使用をしていたにも関わらず、破損、損傷した場合に無償での修理をお約束するものです。
- 2 保証期間内であっても以下の項目に該当する場合は、無償での修理の適用対象外とさせていただきます。(但し、無償の修理の適用対象外であっても、有料での修理又は、代替品への有料修理等のサービスは、ご利用可能です。)
*使用上の誤り、又は、お客様による改造によって生じた破損、損傷
*機器を分解した場合
*火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、静電気、異常電圧等の外部要因によって生じた破損、損傷
*弊社よりご購入後、第三者へ譲渡された場合。
- 3 製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障、又は、使用によるその他の損害については、当社は、その責を一切負わないものとします。
- 4 製品保証書は、日本国内のみで有効です。
- 5 ご購入の際は、お買い上げ日をご記入の上、本保証書を大切に保管して下さい。
- 6 無償修理の際、本保証書を、破損、損傷した製品をお手元にお手数ですが、お買い上げ店までご連絡ください。

サービスセンター



MAKE MEDICAL株式会社

ホームページ: <https://make-medical.com>



ホームページ



LINE公式アカウント

LINE公式アカウント: <https://lin.ee/r6uAZQDi>

◎銀座本社&水素吸入無料体験ショールーム

〒104-0061東京都中央区銀座5-14-3 MAKEビル【銀座5丁目ビル】

◎FACTORY

〒378-0322群馬県沼田市利根町老神531-1

☎03-6824-4399 ✉info@make-medical.com